

人事行政諮問会議について

令和6年1月26日
人事院

設置趣旨

令和5年公務員人事管理に関する報告(抄)

(新時代の公務員人事管理の在り方の検討)

現下の公務員人事管理の課題について早急に対処し、国家公務員制度を時代環境に即したものにアップデートする必要がある一方、公務を取り巻く環境が大きく変化し続け、不確実性を増していく時代にあっては、これまでの延長線上にある考え方では公務員人事管理の課題に対する解を見いだすことは困難である。また、デジタル化が進展し、人材戦略の重要性が増大する新たな時代を見据えて、公務の在るべき姿、求められる人材像、国家公務員に求められる行動規範、その他現代化のための論点を明らかにするとともに、優秀な人材を公務に誘致する上で不可欠である人材マネジメントのグランドデザインを構築することが急務となっている。

本院は、公務員人事管理の在り方について聖域を設けることなく骨太かつ課題横断的な議論を行うため、各界有識者による会議を設置し、令和6年秋を目途に最終提言を得る。その議論・提言を踏まえながら、公務員人事管理について抜本的なアップグレードを実行していく。


社会経済情勢や国際情勢が激変する中、
国民の利益を守り、世界最高水準の行政サービスを提供し、活力ある社会を築く

➡ 行政の経営管理力を高め、公務組織の各層に有為な人材を誘致・育成することが不可欠




職員一人一人が躍動でき、Well-beingが実現される環境整備が必要



01 


公務組織を支える
多様で有為な人材の確保の
ための一体的な取組



02 

職員個々の成長を通じた
組織パフォーマンスの
向上施策



03 

多様なワークスタイル・ライフ
スタイル実現とWell-being
の土台となる環境整備

さらに、新時代にふさわしい公務員人事管理を実現すべく、有識者会議を設置し
聖域なく課題横断的に議論 (令和6年秋を目途に最終提言)

委員構成

荒木 尚志	東京大学大学院法学政治学研究科教授
小林 洋子	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)監事 等
峰岸 真澄	株式会社リクルートホールディングス代表取締役会長 兼 取締役会議長
宮島 香澄	日本テレビ放送網株式会社報道局解説委員
森田 朗(座長)	東京大学名誉教授

開催状況

第1回	令和5年9月25日	諮問、委員からの問題意識共有等
第2回	令和5年10月23日	「国家公務員」の在り方、国家公務員を律する規律
第3回	令和5年12月5日	処遇も含めた、戦略的人材確保の在り方
第4回	令和5年12月19日	多様な属性の職員が生き生きと働き続けられる環境整備の在り方
第5回	令和6年1月23日	エンゲージメント向上につながる評価・育成の在り方
第6回	令和6年2月28日	各府省・職員団体等へのヒアリング（予定）
第7回	令和6年3月25日	各テーマでの議論を踏まえて行動規範を振り返りつつ、中間答申(報告)に向けた議論
第8回	令和6年4月頃	中間答申(報告)
第9回以降未定		
	令和6年中	最終答申(報告)